

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	04 安全で安心して暮らせるまちづくり
	小項目	施策	02 消防・防災
事務事業名		03	水害対策事業
根拠法令・例規等		水防法	
問		担当課(室)	総務課
合		職・氏名	消防防災係長 大西武志
先		電話	64-1809
このシート作成に要した時間		1.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市民
目的(何のために)	台風、大雨、高潮などによる災害から住民の生命、身体及び財産を守るため、必要な防災対策を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水害への速やかな対応

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	水害対策資機材	土のう、真さ土などの水防用資材の配備。ハザードマップの作成配布	◎
	水害対策整備工事	避難路等の整備	○

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
事業費	直接事業費	千円	1,164	1,049	4,737
	必要人員人件費	千円	0.16人	1,282	0.07人
決算額	事業費計	千円	2,446	1,533	5,402
	国県支出金	千円			875
	受益者負担	千円			875
	繰入金債	千円			
	その他()	千円			
	一般財源	千円	2,446	1,533	3,652
	受益者負担比率	%			
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	結果指標量	事業	59	60	60
	対前年比	%	-	101.7%	100.0%
	活動コスト	円	2,082,655	631,016	1,193,222
	単位当たりコスト	円	35,299	10,517	19,887

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
土のう土配備箇所数	目標値(A)	60	65	66	67
	実績値(B)	59	60	62	到達目標値
	達成率(B/A)	98.33%	92.31%	93.94%	100%
成果指標設定の考え方・式や説明					
自主防災組織数(=目標値(A)の数値)×1箇所を基準					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	C
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	C
	目的達成度	
有効性の評価	市民参画度	C

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	災害に備え、土のう、真さ土などの水防用資材を常に配備しておく必要がある。					

総合評価		評価区分<A~E>	妥当性
台風、梅雨前線による集中豪雨、高潮、局地的なゲリラ豪雨など多様な水害に対処するため、水防資機材を準備し、自主防災組織など地域住民の協力を得て、減災に努めている。また、水害、土砂災害ハザードマップを作成することにより、情報提供を行っている。		C	A 妥当性 C 有効性 △ 効率性

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	台風、梅雨前線による集中豪雨、高潮、局地的なゲリラ豪雨など多様な水害に対処するため、水防資機材を準備し、自主防災組織など地域住民の協力を得て減災に努めると同時に、情報提供を図っていく必要がある。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい